

# グラフで見る東海経済(2021年9月)

2021年9月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ～持ち直しが一服

### 【今月のポイント】

- 生産(7月)は、2ヶ月ぶりに減少。部品調達難により主力の輸送機械が足踏み状態となっている。
- トヨタの国内生産は、部品調達難により9-10月と大幅減産の後、11月以降の挽回を見込むが、年度生産は300万台割れの可能性も。
- 名目輸出(7月)は前年比増加が続くが、自動車の伸びが縮小。
- 個人消費は総じて弱含み。
- 住宅投資はこのところ前月比、前年比ともに増加が続いている。

項目	現状
景気全般	持ち直しが一服(↓)
生産	足踏み状態(↓)
輸出	足踏み状態(↓)
設備投資	持ち直しの動きが見られる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる(↑)
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ( )内は前月からの変化の方向

景気全般は、「新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調」から下方修正(↓)

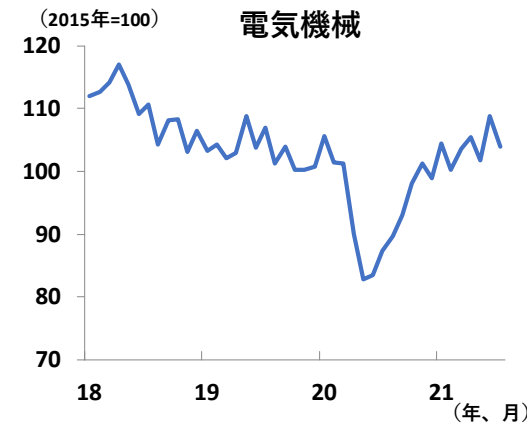
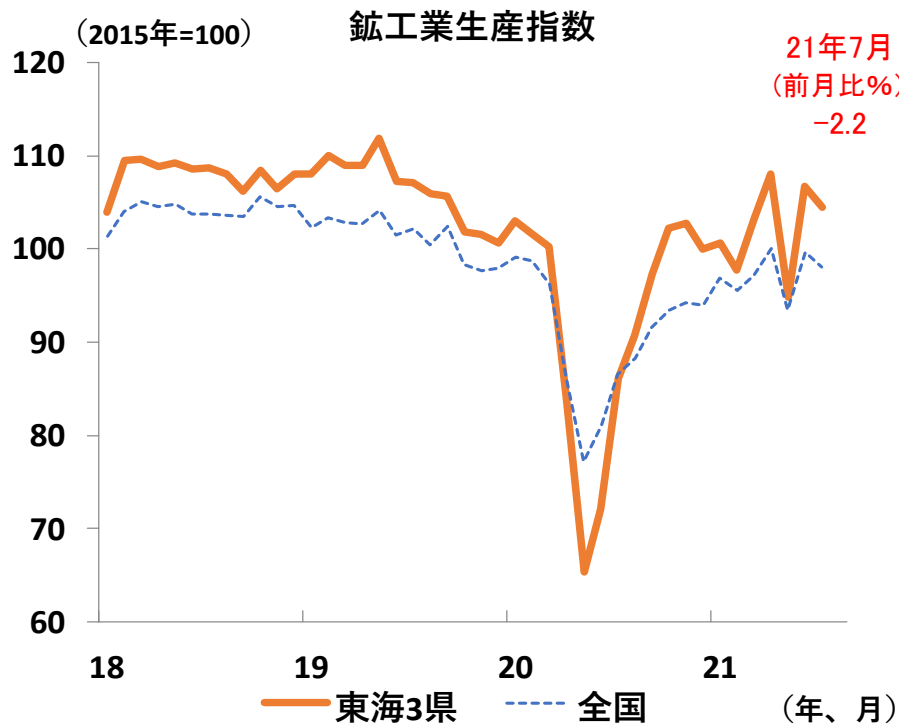
生産は、「持ち直し基調」から下方修正(↓)

輸出は、「持ち直している」から下方修正(↓)

住宅投資は、「横ばい」から上方修正(↑)

# 生産

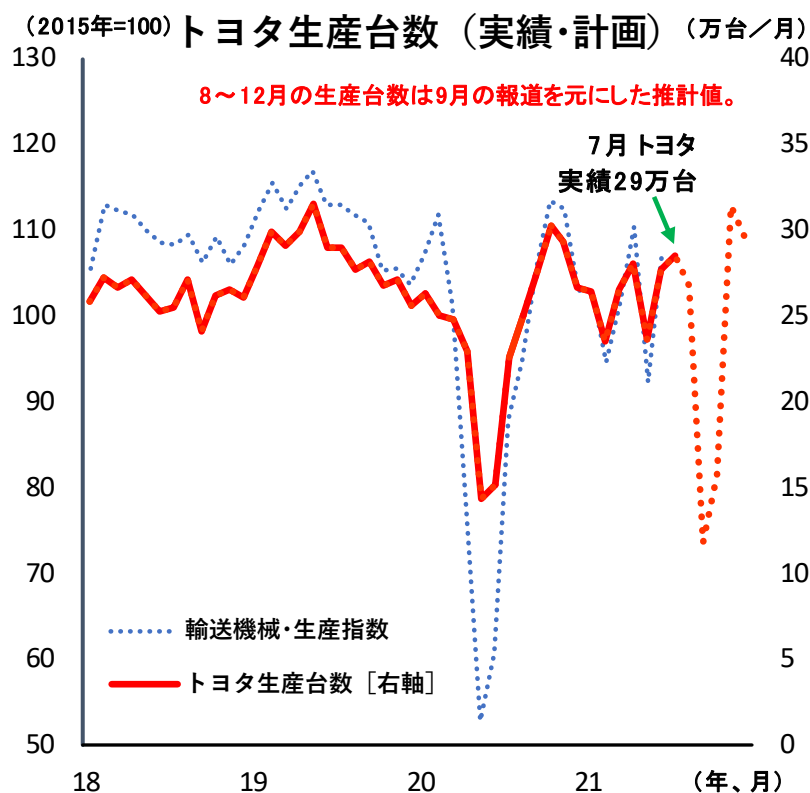
7月の鉱工業生産(東海)は前月比-2.2%と2ヶ月ぶりに減少。輸送機械、電気機械などが減少した。先行きについては、東南アジアのコロナ感染拡大による部品調達難に起因するトヨタ自動車の生産調整により10月まで減少が続くが、部品調達正常化後は持ち直しが見込まれる。



(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

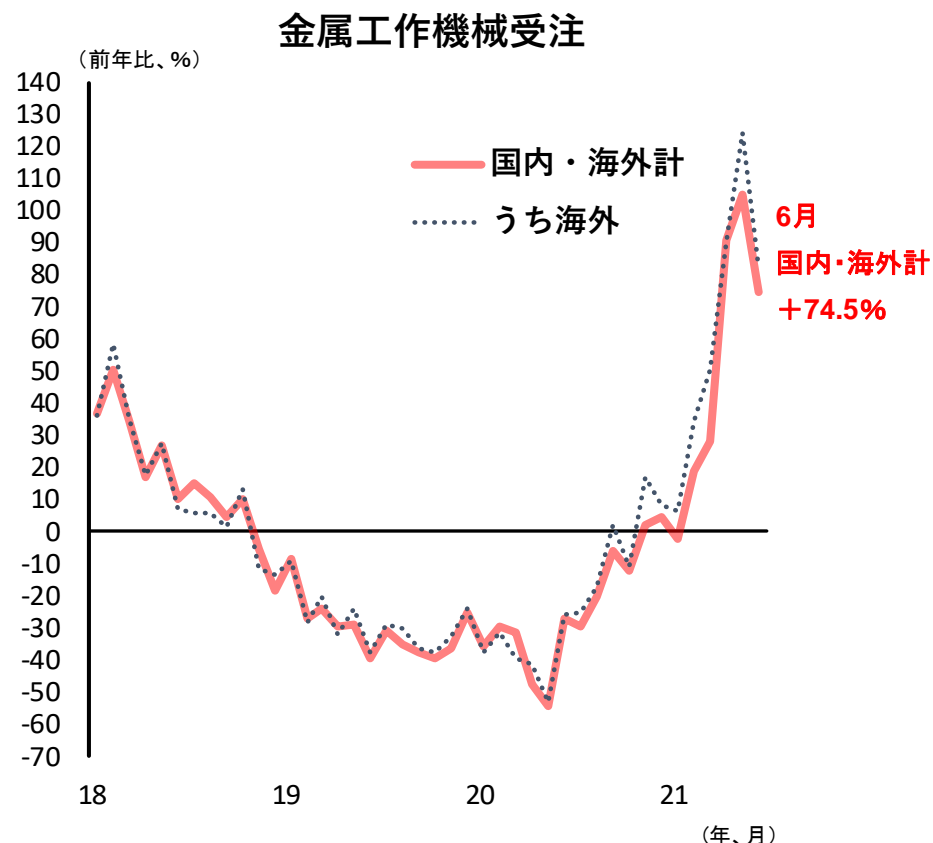
# 生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

7月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は29万台。先行きは東南アジアのコロナ感染拡大による部品調達難から9、10月に大幅減産の後、11月以降の挽回を見込むが、年度生産は300万台割れの可能性も。中部経済産業局「金属工作機械受注状況」は、6月分(先月公表)を最後に公表とりやめとなった(本レポートでも来月以降掲載とりやめ)。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの

(出所)中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

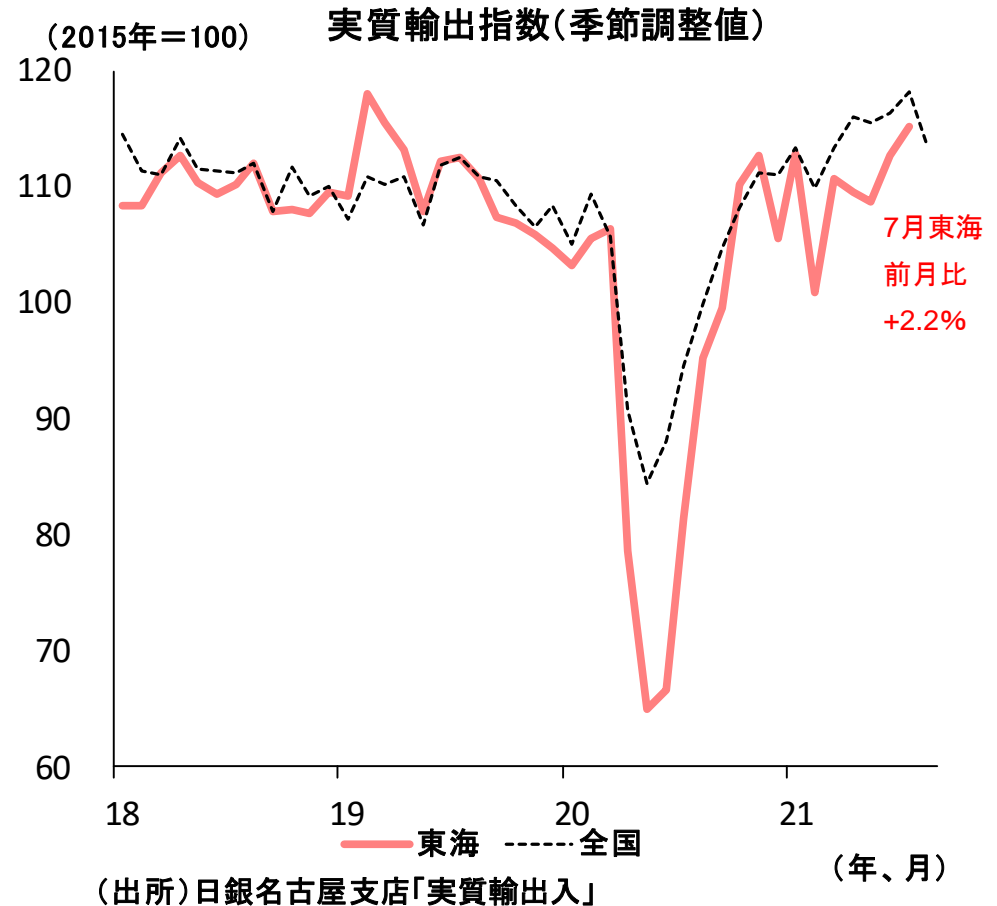
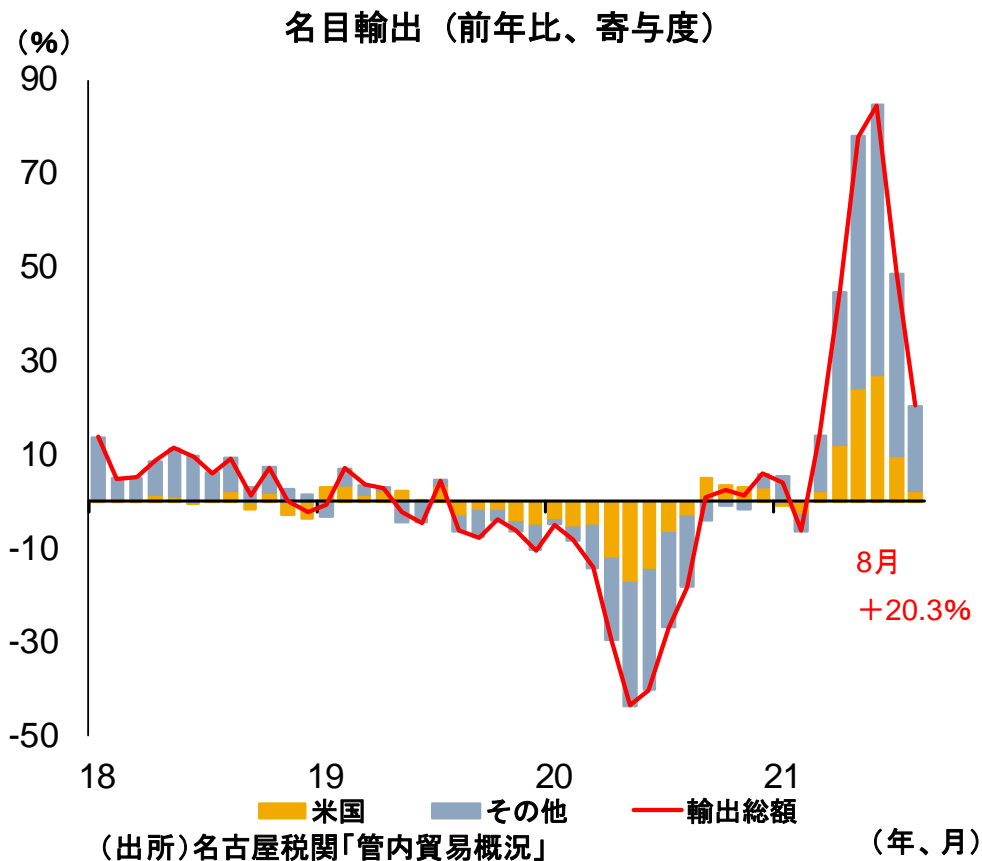


(出所)中部経済産業局「金属工作機械受注」

# 輸出

8月の名目輸出額は、前年の水準が低かったこともあって前年比+20.3%と6ヶ月連続で増加したが、伸び率は縮小した(一昨年比では5ヶ月ぶりに減少)。地域別では米国向けが同+2.0%と伸びが縮小、品目別では自動車と同+0.6%と小幅の伸びに留まった(数量ベースでは前年比マイナス)。

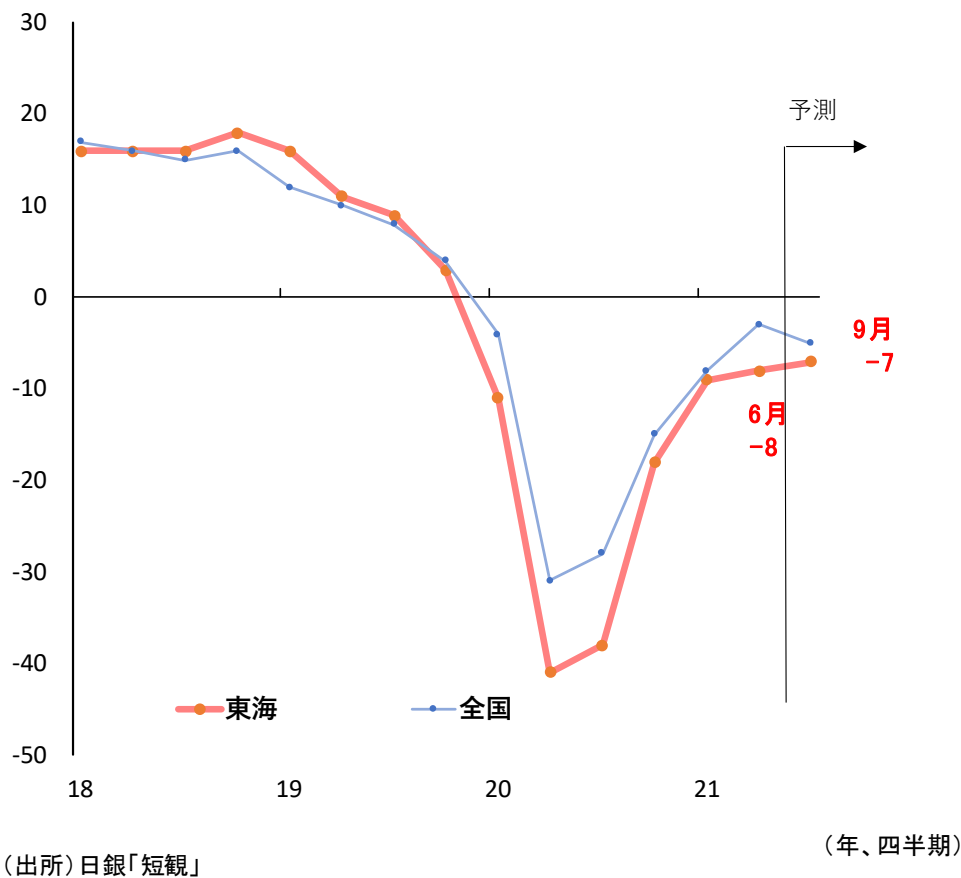
7月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+2.2%と2ヶ月連続で上昇した。



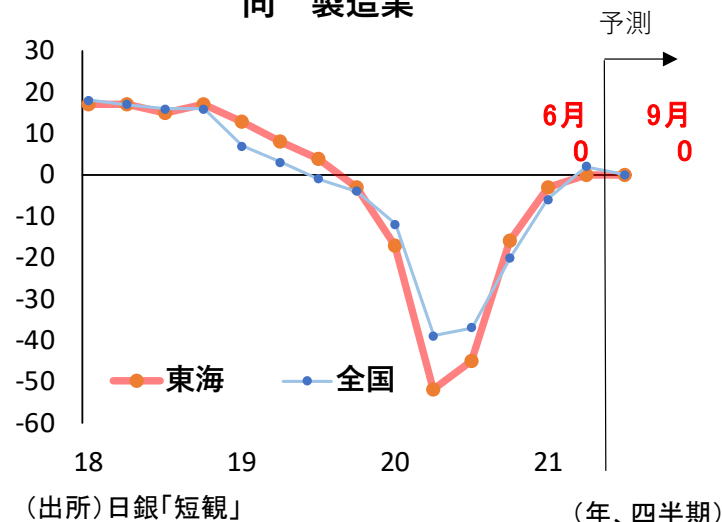
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査の業況判断DIは全産業で-8と、3月調査から小幅改善した。製造業は0と小幅改善、非製造業は-17と横ばいであった。先行きは、製造業は横ばい、非製造業で小幅改善が見込まれている。

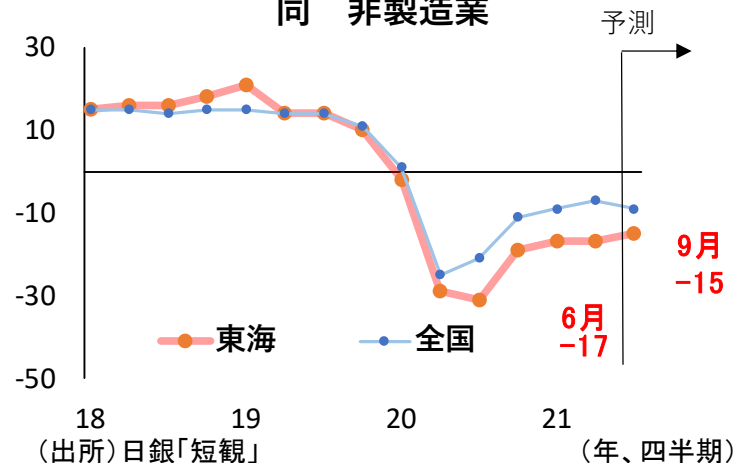
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

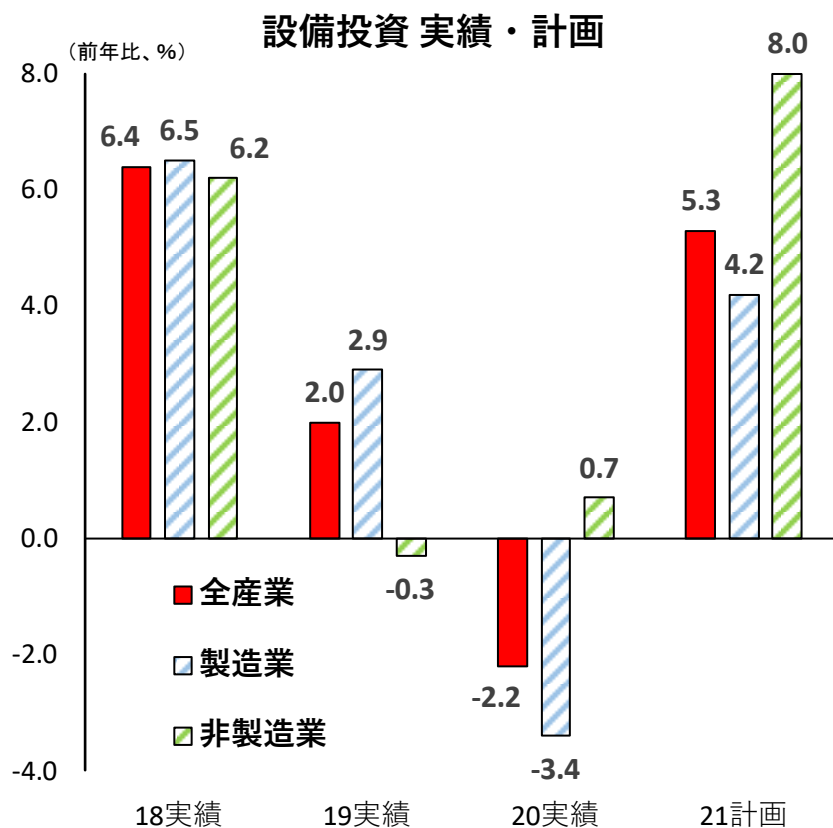


同 非製造業



## 設備投資※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、20年度の設備投資実績は、製造業が前年比減(-3.4%)となり、全産業でも減少となった(-2.2%)。21年度は、製造業、非製造業ともに前年比増加(+4.2%、+8.0%)が見込まれている。製造業に比べ、非製造業が強めの計画となっている。



設備投資額 (前年比%)

	20年度 実績	21年度 計画		
		今回	3月調査時 [差異]	
全産業	-2.2	5.3	0.4	4.9
製造業	-3.4	4.2	-0.3	4.5
非製造業	0.7	8.0	2.0	6.0

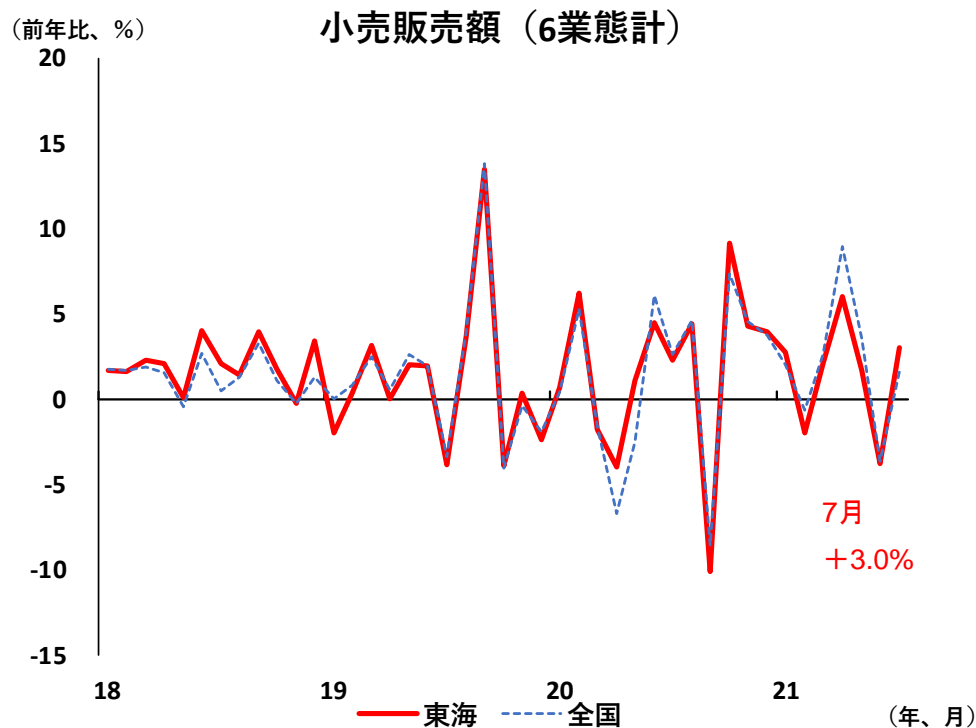
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

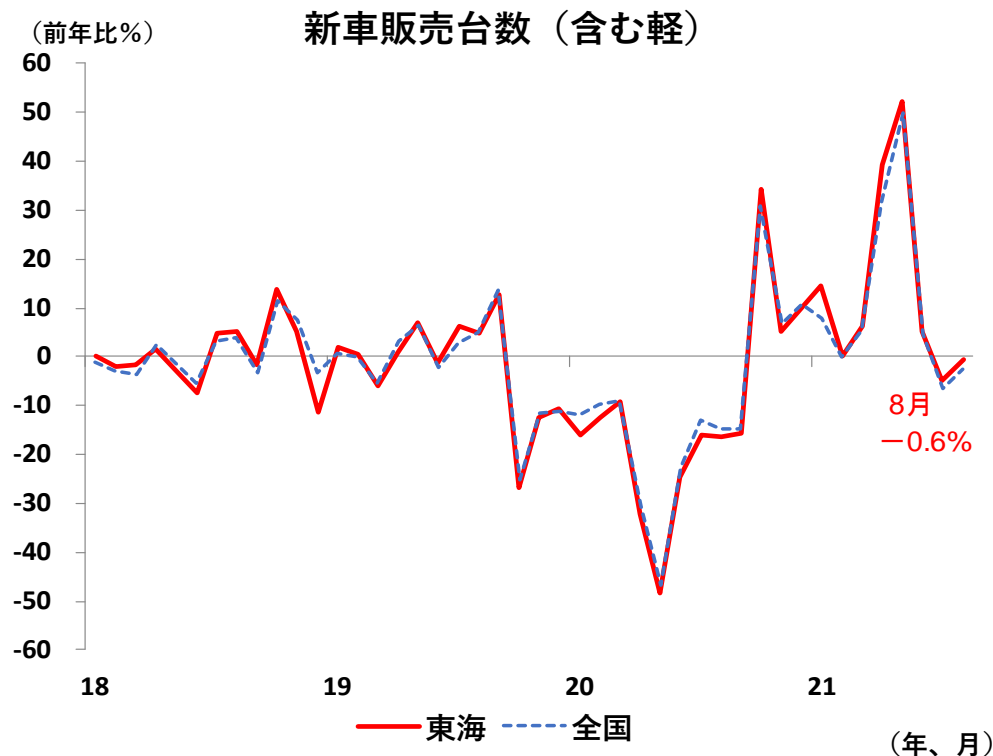
7月の小売販売額は前年比+3.0%と2ヶ月ぶりに増加した(一昨年比では+5.4%)。家電販売店、ホームセンターは減少したが、それ以外の業態は増加した。

8月の新車販売は、半導体の供給不足による生産調整もあって前年比-0.6%と2ヶ月連続で減少、一昨年比では-18.4%と弱い動きとなっている。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

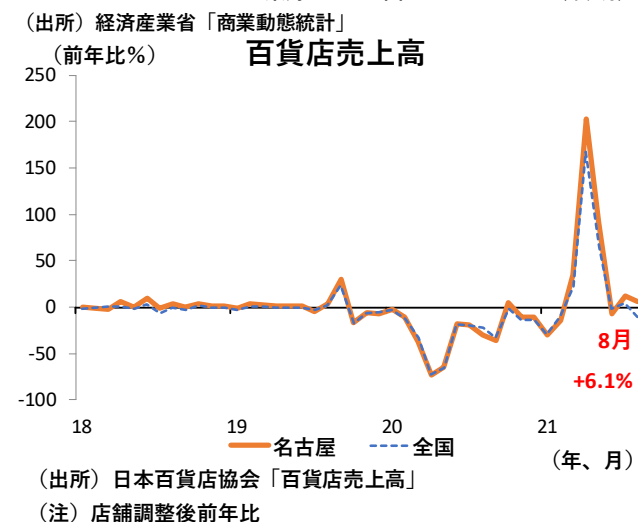
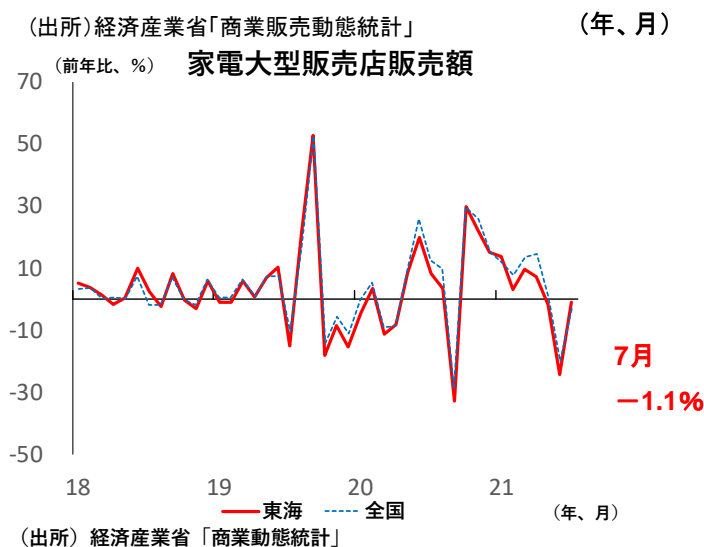
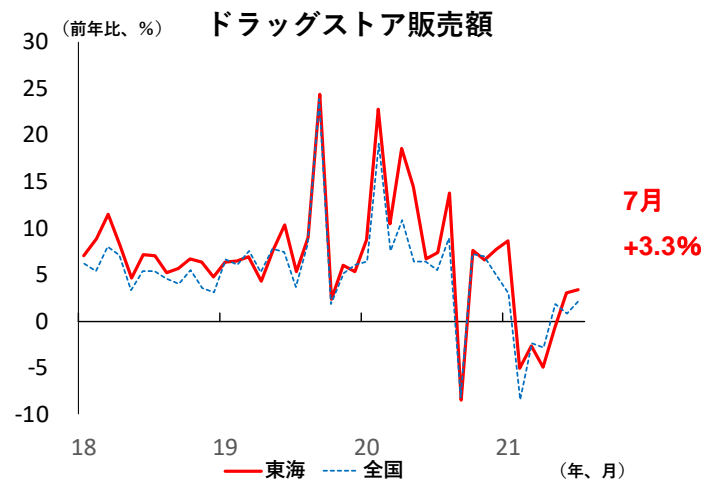
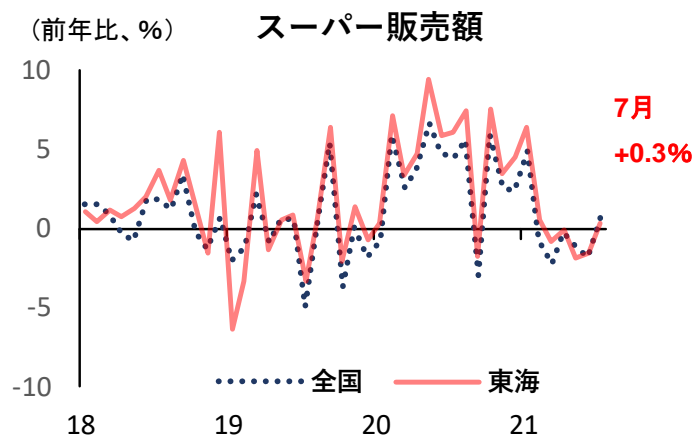
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



# 個人消費(業態別)

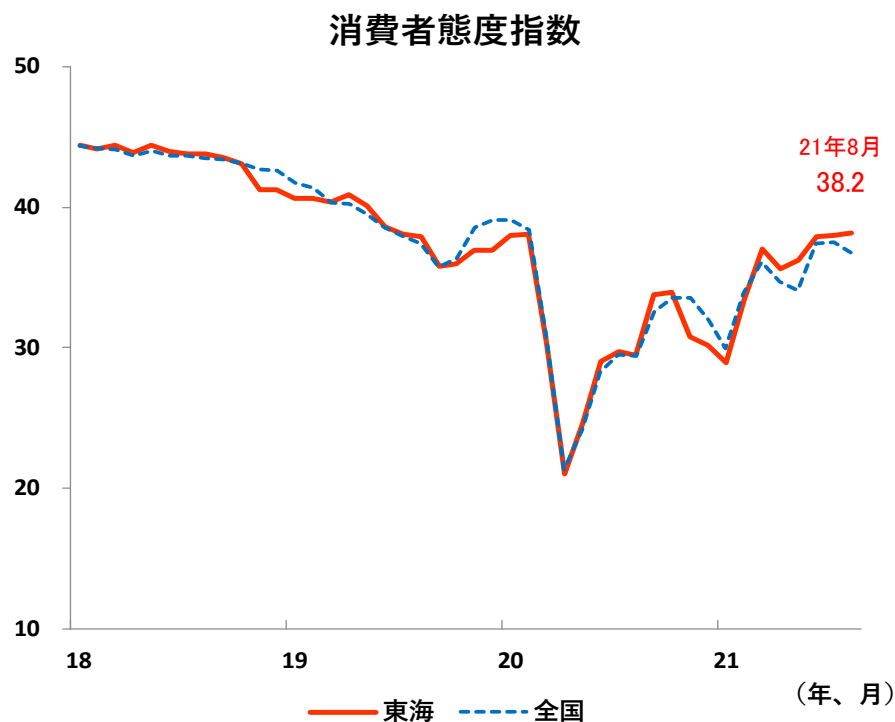
家電販売店(7月)は、前年の定額給付金支給効果の反動もあって前年比-1.1%と減少が続いた。

8月の百貨店売上(名古屋)は前年比+6.1%と2ヶ月連続で増加。一昨年比では-25.5%減と減少が続いており、基調は弱い。

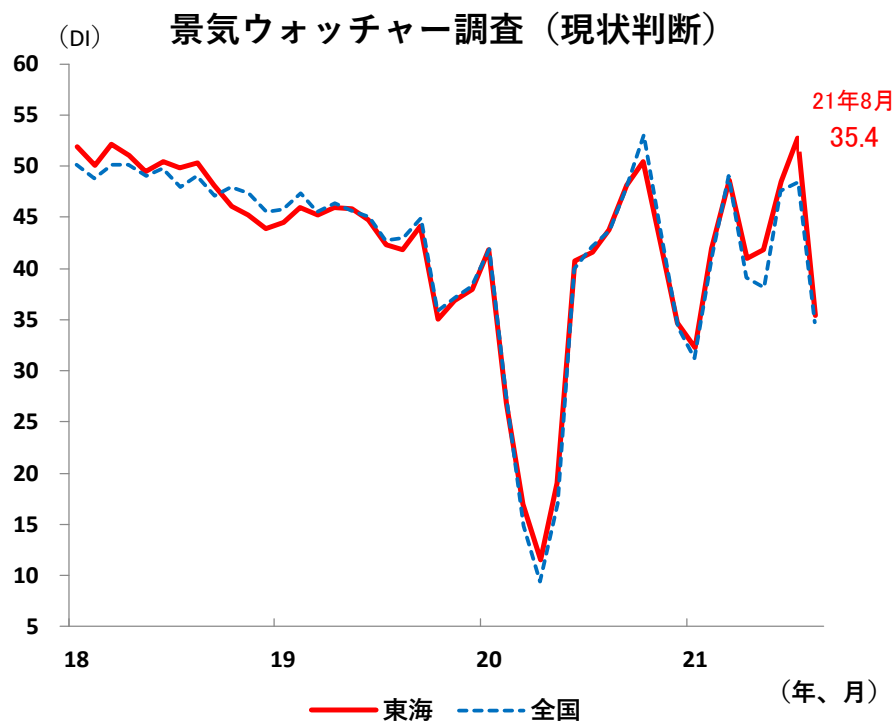


# マインド・景況感

8月の消費者態度指数は38.2(前月差+0.1%pt)と小幅ながら4ヶ月連続で上昇した。  
8月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、35.4(前月差-17.4%pt)と4ヶ月ぶりに低下した。8月は新型コロナウイルス感染拡大が進み、27日に愛知、岐阜、三重の東海3県で緊急事態宣言が発令されたことが景況感の大幅な悪化につながった。



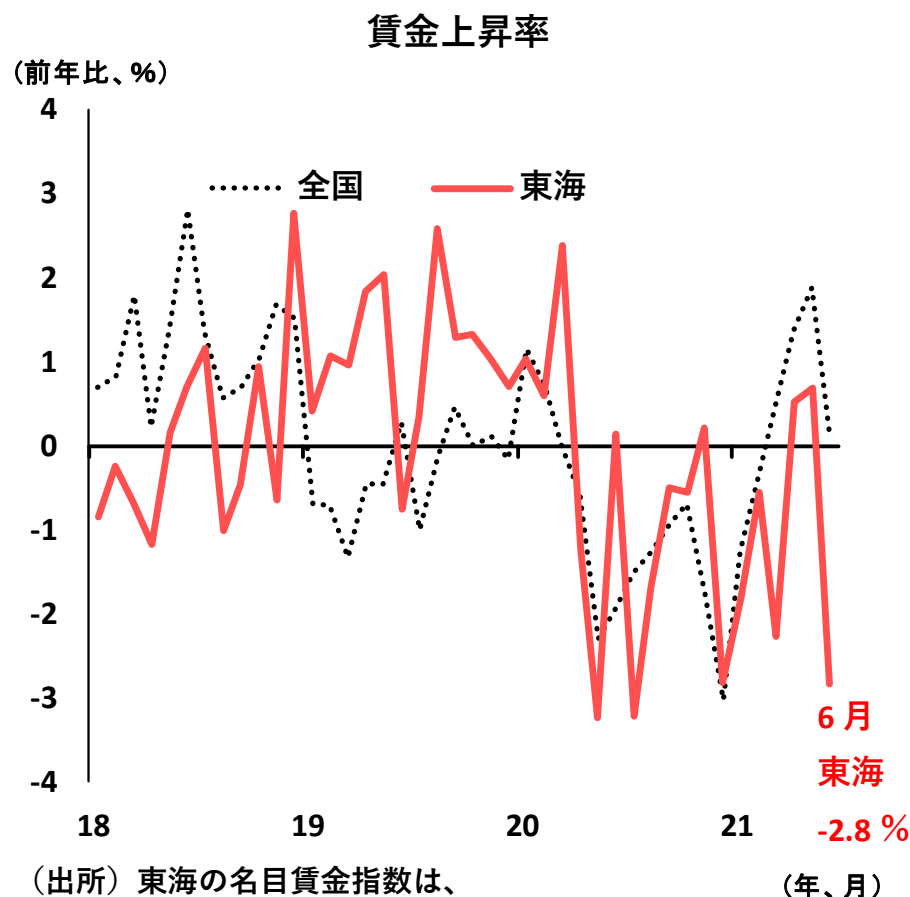
(注)東海の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」



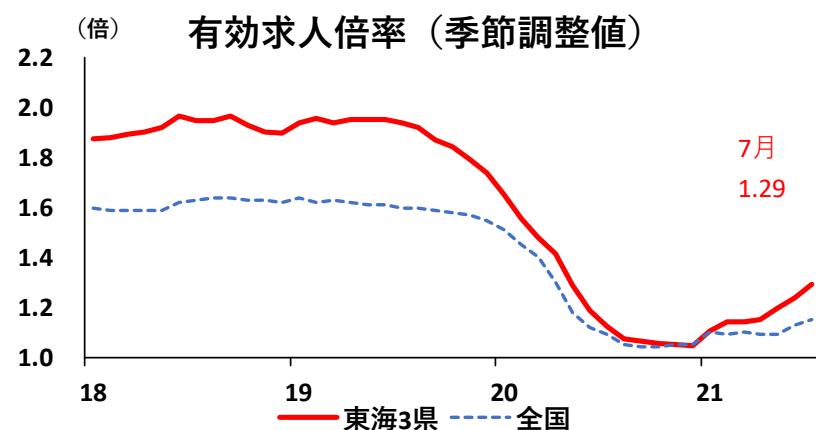
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

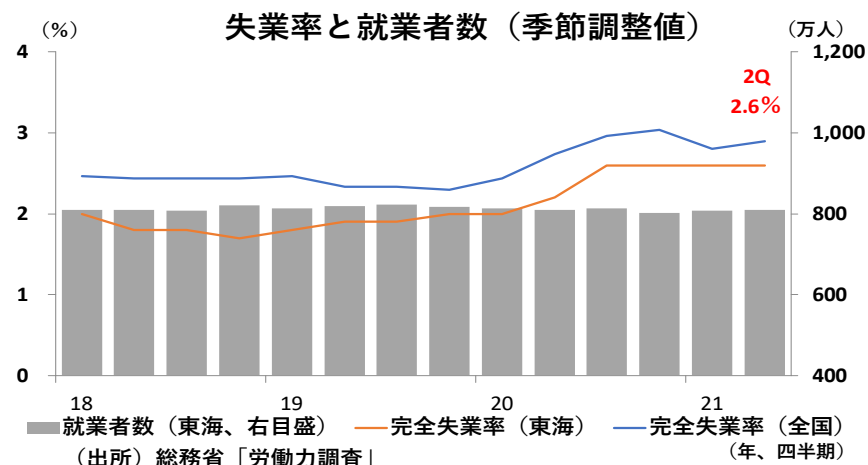
6月の名目賃金指数は、前年比-2.8%と3ヶ月ぶりに低下した。特別給与の減少が全体を引き下げた。  
 7月の求人倍率は1.29と、このところ小幅ながら上昇が続いている。  
 21年4-6月期の失業率は2.6%と横ばい。就業者数は小幅増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、  
 愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

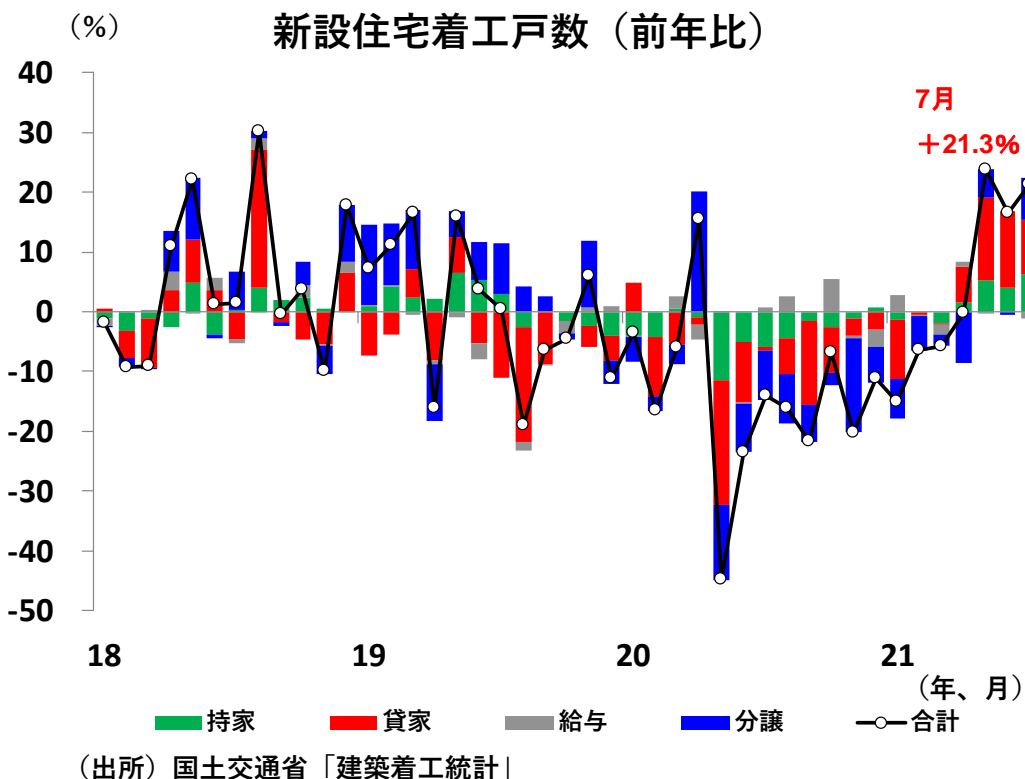
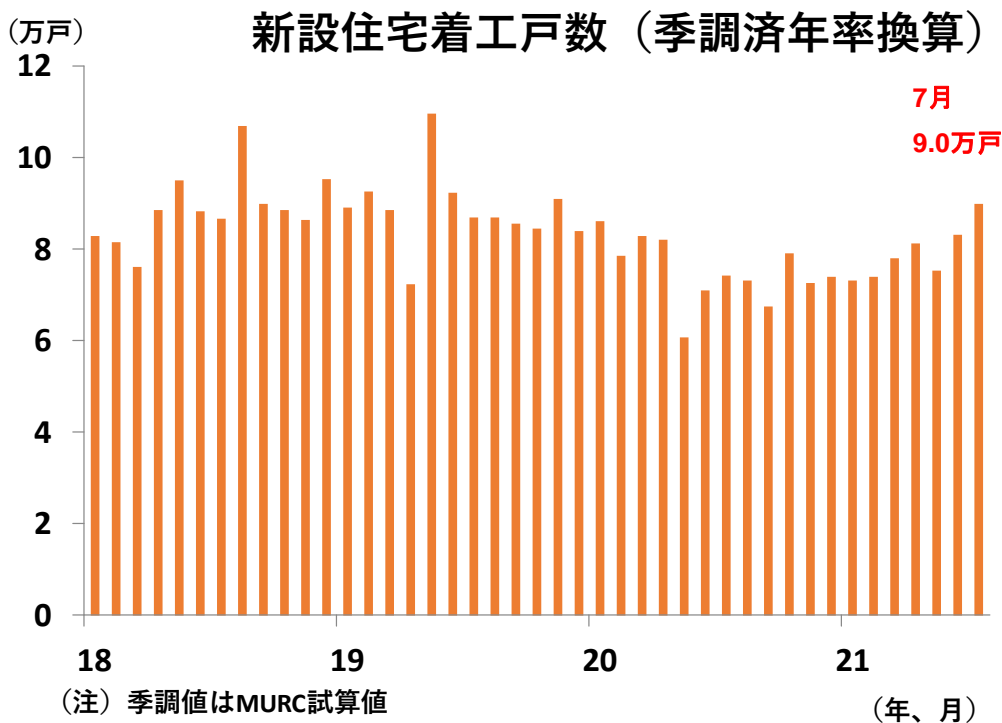


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



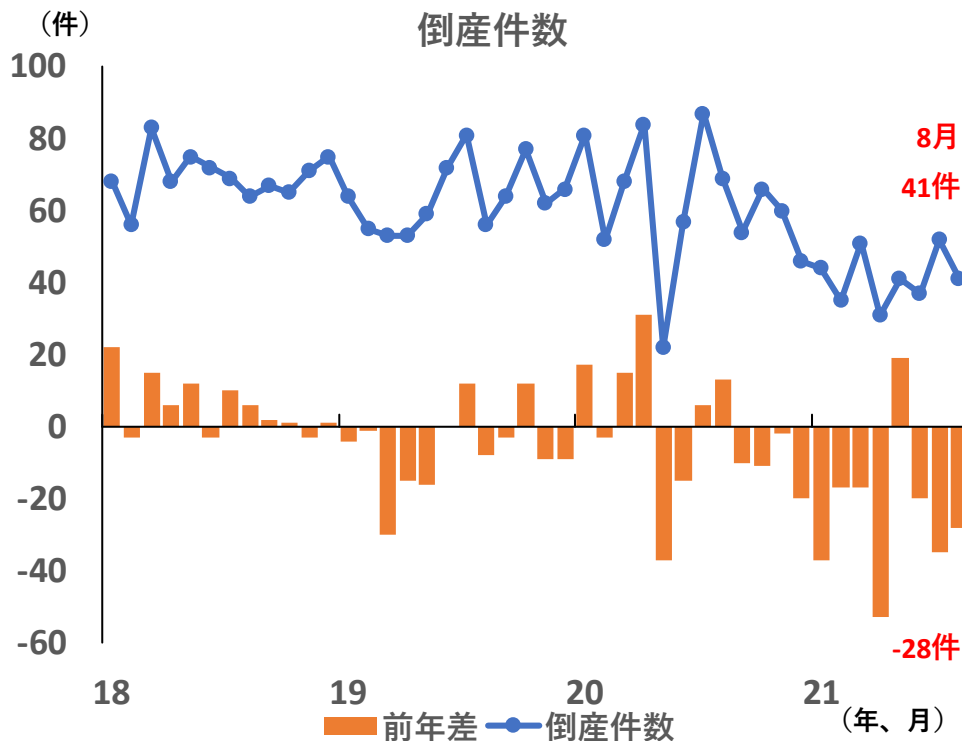
# 住宅投資

7月の住宅着工は季調・年率で9.0万戸と2ヶ月連続で増加した。原数値では前年が低水準であったため前年比+21.3%と大幅増、一昨年比でも+3.4%と増加した。



# 倒産

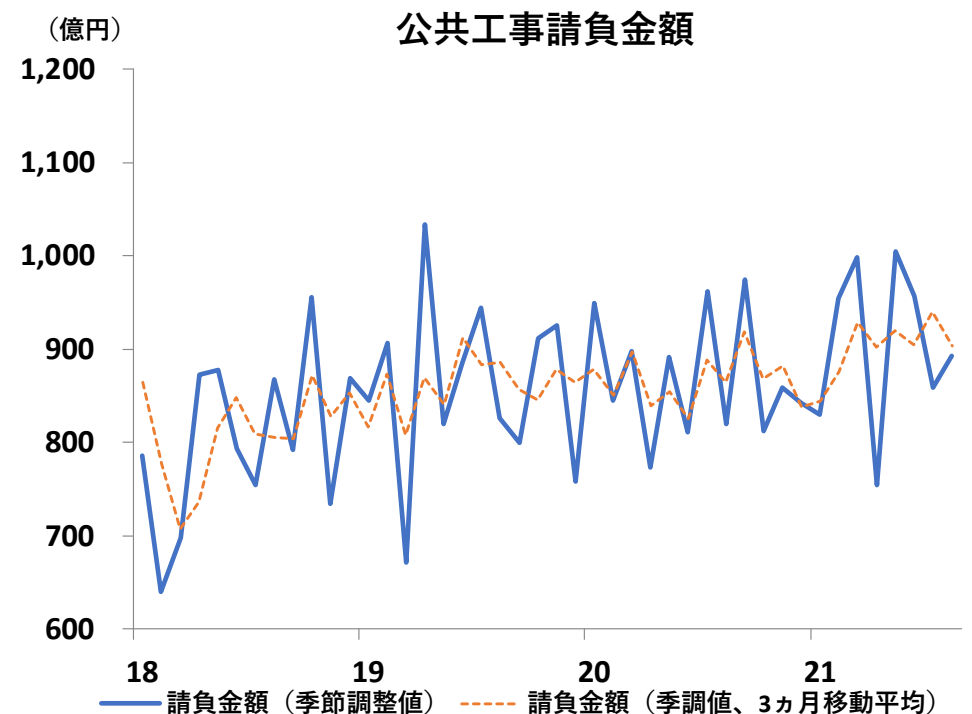
8月の倒産件数は41件と前年を下回り、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

# 公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(年、月)

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください